

日本共産党提出の意見書を可決

介護保険の充実を国に求める

国は介護保険の負担を増やせ

来年4月、全国的に介護保険料の大幅値上げが予想されています。値上げを食い止めるためにも、介護保険への国の負担を増やすことが求められます。

9月市議会で日本共産党市議団は「介護保険制度の改善を求める意見書」を提出しま

した。ひとり会派「市民みんなの会」以外の賛成を得ることができ、賛成多数で可決されました。国に対し次の4点を求めました。

今後ともみなさんとご一緒に、また、日本共産党の国会議員とも力をあわせてがんばります。

1. 国の介護給付費負担を、当面、現行の25%から30%にまで引き上げること。
2. 保険料、利用料の減免を国の制度とすること。
3. 介護予防を推進し、これに必要な財源を保障すること。
4. 平成23年度末に廃止予定の処遇改善交付金（月1.5万円分）は廃止せず、保険料や利用料アップにつながらないような介護従事者の労働条件の改善策を国の責任で講ずること。



ヨメナ

日本共産党市議団は、5月に被災地の宮城県をボランティアとして訪れ、6月市議会で津波の避難誘導標識の設置など、防災の強化を求めました。9月市議会の補正予算で、海拔表示板（2000ヶ所）や津波警戒標識（14ヶ所）設置のための予算が可決し、設置されることになりました。



宮城県塩釜市の避難誘導の看板

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.484
2011. 10. 12.

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

日本共産党えんど久子市議 9月市議会 市長の問題発言で謝罪を求める

市長の問題発言で謝罪を求める

げんきニュース475などで紹介した、市長選挙告示直前の建設4団体800人が集まった集会で、浜田市長が「市の仕事はいろいろなということでしょ」などと発言した問題について、えんど久子市議は市長に謝罪を求めました。

えんど市議は「露骨な

入札に介入する発言だ。業者は仕事がなく大変な中、選挙で応援しない業者には仕事はやらないということか。この件での共産党市議団への回答は全く反省がなく居直りの回答だ。市長の資格が問われる。明確に反省を述べるべきだ」と主張しました。

「誤解を招いた」

との市長答弁を批判

浜田市長は「誤解を招いたということは反省しお詫びする」と答弁。えんど市議は「誤解を招いたというレベルの問

題ではない。こういう考え方自体があつてはならない」と、この市長答弁を批判しました。

業者しめ出しはひどい

また、前号のげんきニュースでもお知らせしたP点導入の問題では、えんど久子市議はP点を導入した2件の工事の内容を質問。「競輪場前売り券発売所建築工事と南立石小学校管理教室棟耐震補強工事の2件」との答弁を受け、「学校の耐震補強工事などは、特殊な工事

ではなく、これまでも指名競争入札や一般競争入札で行なつてきており、P点導入の根拠はない」と指摘しました。こういう形で締め出された業者は死活問題です。市内業者育成の立場で行政をすすめるようがんばります。



すでに耐震補強工事を終えた校舎

別府市議会のHPで市議会の映像が見られます。ぜひご覧ください。